学校番号	2101

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	（学）器楽演奏	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽器を演奏すること、楽器で合奏することを学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。

2　学習の到達目標

・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につける。
・器楽の音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもち、創造的に表現する。
・音楽や音楽文化に関心を持ち、器楽の学習に主体的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

前半	「器楽」 ギター ・きらきら星 ・ぶんぶんぶん ・シューベルトの子守歌 ・小鳥ならば ・森のくまさん	基礎的な奏法を身につける。 常に音色を意識し、曲想を生かして演奏を工夫する。	a:音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:曲想を生かして主体的に表現を工夫している。 c:楽曲にふさわしい音色を考え表現することに興味・関心をもっている。	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技 テスト	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技 テスト	ワークシート 授業への取り組み
	「器楽」 キーボード ・月の光に ・鐘が鳴る ・「ぐるぐるピアノ」から	基礎的な奏法を身につける。 常に音色を意識し、曲想を生かして演奏を工夫する。	a:音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:曲想を生かして主体的に表現を工夫している。 c:楽曲にふさわしい音色を考え表現することに興味・関心をもっている。	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技 テスト	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技 テスト	ワークシート 授業への取り組み

後半	「合奏」 アンサンブル ミュージックベル	アンサンブルを通して、曲の特徴を理解しながら、表現を工夫して個性豊かに演奏するとともに、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。	a:他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技 テスト	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技 テスト	ワークシート 授業への取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度